

多様な性のあり方の理解と課題の可視化について  
多様な協働の場を創出する事業

～にじいろ協働事業～

仙台市市民協働事業提案制度 平成30年度事業報告会

東北HIVコミュニケーションズ

# 提案団体紹介

東北HIVコミュニケーションズ(THC) 1993年12月設立



## <団体のミッション>

- HIV感染症/エイズによって自らの生命や生き方に影響を受けた人々が共に生きる社会を創る
- 疾病やセクシュアリティなどに刻まれたスティグマを克服し、自らの力を回復して、自己決定のもとに生を歩めるようにする

## <構成員> 活動会員10名 事務局と相談員

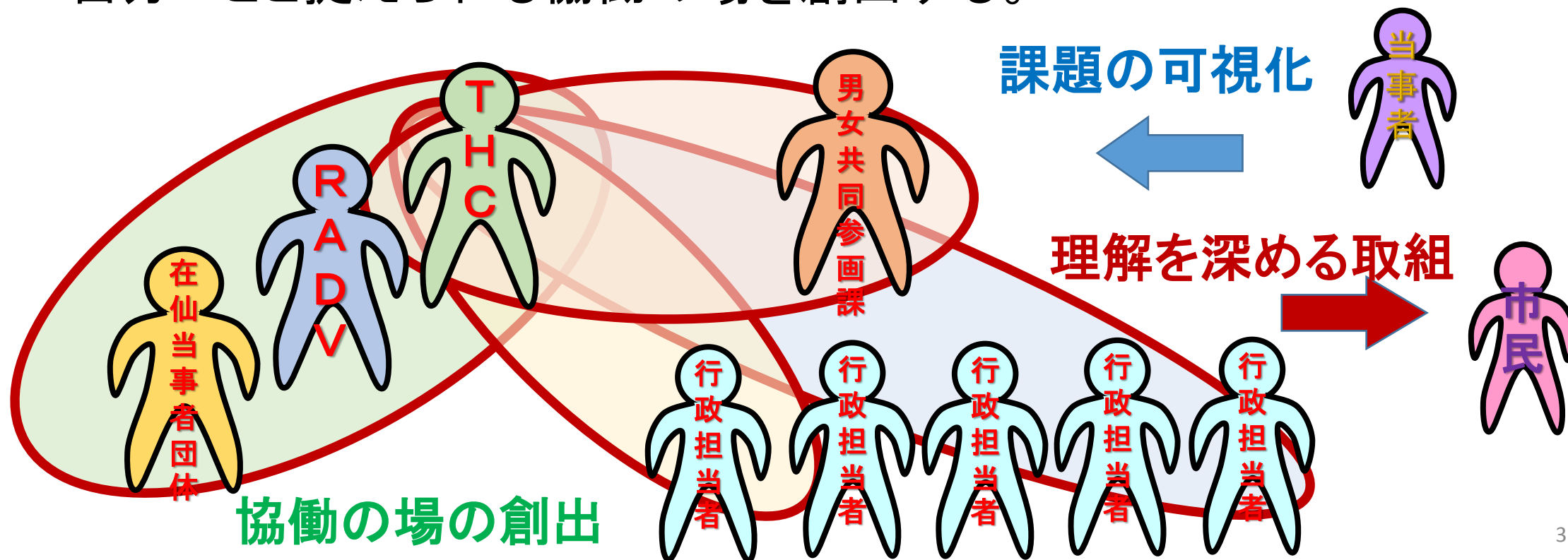
- その他、やろっこボランティア、セクシュアリティ夜間学校ボランティア

## <これまでの取り組み>

- 世界エイズデーせんだい・みやぎ、厚生労働省エイズ対策研究事業
- エイズ電話相談、面談・同行支援、HIVに関する人材育成とネットワーク（共に学ぶ講座開催）
- HIV・セクシュアリティ・性的自立～支えあう学習会開催（2012～2015）
- セクシュアリティ夜間学校（2016～） 多様な性の当事者のネットワークと人材育成

# 事業の目的

- 多様な性のあり方について行政担当者・事業者・当事者・一般市民それぞれが理解を深め、社会的な意味を見出し、互いにこの課題を自分ごとと捉えられる協働の場を創出する。



# 事業内容 4つの実施事業

- ① にじいろスピーカー派遣
- ② 啓発資材:「にじのたね」の発行
- ③ コミュニティスペース「にじのひろば」
- ④ せんだいレインボーDay



# ① にじいろスピーカー派遣

- 5/14まで意向調査を実施、3/18まで効果評価アンケートを実施
- 45部署で対応を実施または検討中で、32部署で対応の必要性を感じている。13部署では事業の利活用を検討している状況が把握できた。
- 5部署より利用活用したい、8部署より検討中との回答を得た。
- 5部署にスピーカーを派遣した。103名が参加した。
- 派遣を行った部署： 総務局厚生課（7/11実施）、消防局宮城野消防署（7/26, 27実施）、水道局水質管理課（8/30実施）、青葉区中央市民センター（9/12実施）、市民局市民協働推進課（3/12実施）

## ② ニュースレター「にじのたね」

### ◆ Vol.1 2,000部 6/1発行

にじいろ協働事業の紹介、レインボーフラッグとプライド月間、多様な性とは？、実施団体と男女共同参画せんだいプランの紹介、せんだいレインボーDay

### ◆ Vol.2 3,000部 9/1発行

せんだいレインボーDay報告、学校と多様な性、多様な性と共に成長すること、ユース団体紹介と相談窓口紹介、にじのひろば

### ◆ Vol.3 3,000部 12/15発行

男女共同参画推進せんだいフォーラム2018参加報告、当事者／アラインタビュー、にじいろスピーカー派遣紹介

### ◆ Vol.4 4,000部 3/20発行

にじいろ協働事業第Ⅰ期報告、にじのひろばでの座談会、第Ⅱ期のお知らせ、ボランティア募集





### ③ コミュニティスペース「にじのひろば」

毎月第4日曜日13:30～17:30 エル・パーク仙台5階創作アトリエ

7/22、8/19、9/23、10/28、11/25、12/23、1/27、2/24、3/24

9回実施し、延べ100名程度の参加があった。

- 談話スペース、読書スペース、手仕事スペースを設け、参加者が互いにプライバシーを守って安全な場を作り安心して交流できる場とした。
- 多様な性のミニ講座、にじいろライフストーリー
- にじのたねVOL.2、にじいろ協働事業HP、SNSにて広報







# 多様な性ととともに育つ

## ～ 「カラコエの花」上映会とシンポジウム

男女共同参画推進せんだいフォーラム2018参加企画

主催：(公益)せんだい男女共同参画財団

- ・男女共同参画推進せんだいフォーラム2018へ参加  
多様な性ととともに育つ

### ～ 「カラコエの花」上映会とシンポジウム

- 第1部 「カラコエの花」上映会
- 第2部 講演「若者の居場所づくり」
- 第3部 シンポジウム  
「多様な性ととともに育つこと」

遠藤まめた氏 角田秀晴氏

赤井慧氏 小浜耕治

- ・70名が参加



### 多様な性ととともに育つ

#### ～ 「カラコエの花」上映会とシンポジウム

2018年11月18日(日)14:00～17:00

エル・パーク仙台 スタジオホール

参加費:無料 定員:150名

※申込不要(直接会場へお越し下さい)



第1部 14:00～14:40  
「カラコエの花」上映会(字幕つき)

第2部 14:55～15:45  
遠藤まめたさん講演「若者の居場所づくり」  
にじみず、にじこの実践:居場所づくり  
活動でめざしてきたもの

第3部 16:00～17:00  
シンポジウム「多様な性ととともに育つこと」  
遠藤まめたさん  
角田秀晴さん(リンパドグレストラン HACHI社長)  
赤井慧さん(尚綱学院中学校高等学校 聖書科)  
コーディネーター:小浜(にじいるキャンパス SENDAI)

※託児について  
すべてのイベントに託児が出来ます。  
●対象:6ヶ月以上小学校1年生まで  
(しよがいのあるお子さんや上のお子さんに  
ついてはこちらをご覧ください)  
●託児利用料:300円(子ども1人1回)  
●託児申込:11月8日(木)  
●先着順、定員に限り次第締切。  
●託児問合せ:申込先  
:エル・パーク仙台 管理事業課  
TEL:022-268-8300 FAX:022-268-8304

「カラコエの花」は、「あなたを守りたい」と善意でなされた授業が、生徒たちの間で様々な連鎖を生んでゆく様を描いた映画です。映画を観覧した後、長きにわたり若い世代の性的マイノリティを支援してきた遠藤まめたさんに、子どもたち・若者たちの現状についてうかがい、その後地域の様々な立場の方と共に、シンポジウムを行います。

仙台という地で、多様な性のあり方をどのように伝えていけるか? そのために地域でどのような協働が求められるかについて、考えていけたらと思います。

企画・運営:

(にじいるキャンパス SENDAI (市民有志、東北 HIVコミュニケーションズ、仙台市により構成))

平成30年度仙台市市民協働事業提案制度採択事業:にじいる協働事業

HP: <https://sendai-nijiro.org> 連絡先: office@sendai-nijiro.org

# 事業の達成度

## ◆多様な性のあり方の理解促進

- 事業の認知・活用
  - ✓ スピーカー派遣43%認知・4.8%活用
  - ✓ にじのたね76%認知・12%活用
- 各課の課題認識
  - ✓ 17.8%→26.0% 取組み・始時比146%
  - ✓ 30.4%→46.7% 必要性・始時比154%

⇒行政への浸透は時間がかかる  
数年にわたる継続が必要

- 市民の広範な理解は難しい
- イベント参加者は理解を深めた

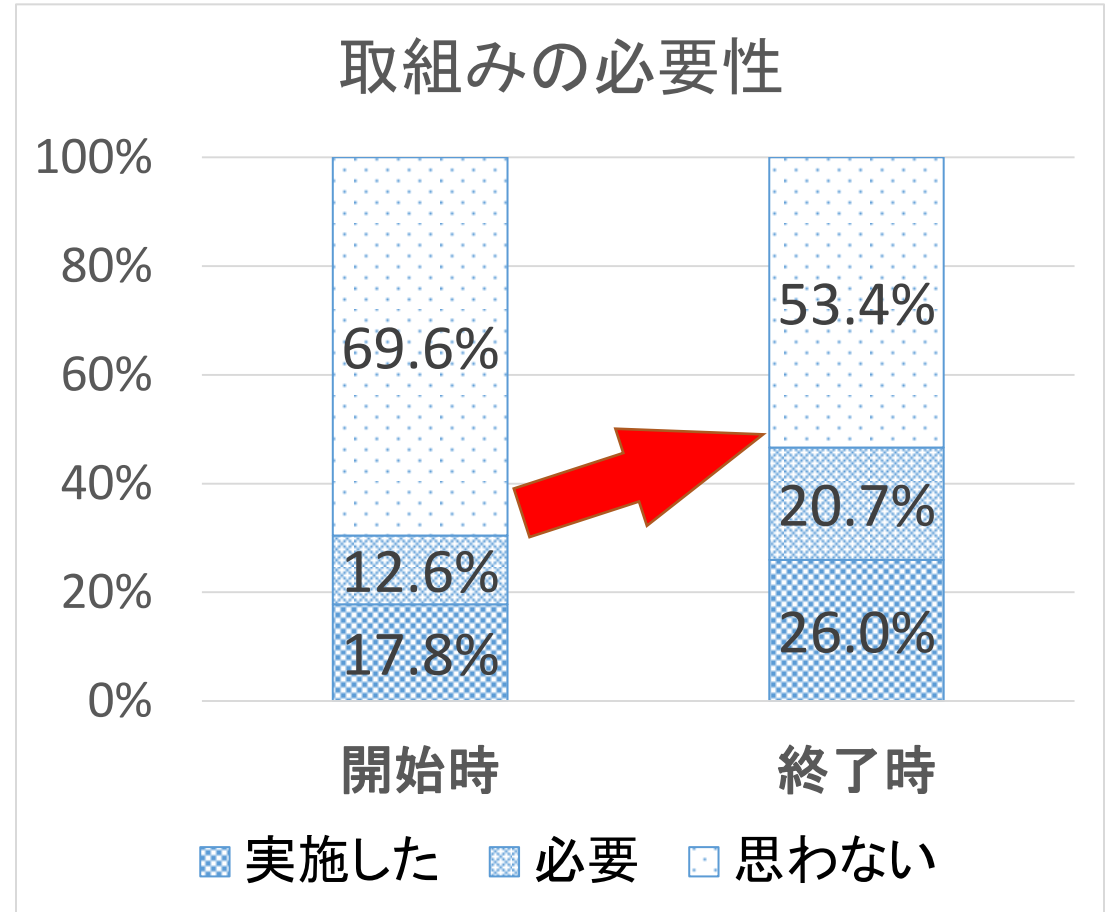
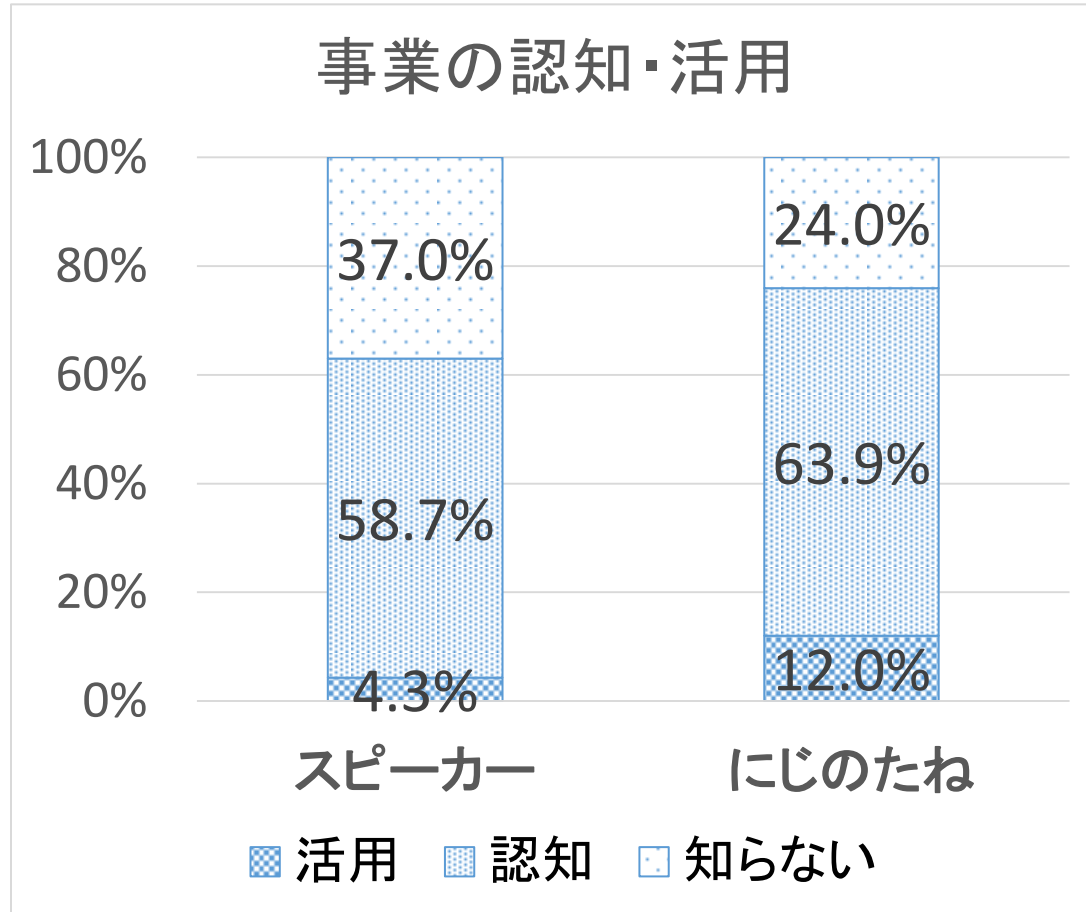
⇒イベント参加者が生活圏で  
広げられるツールが必要

## ◆協働の場の創出

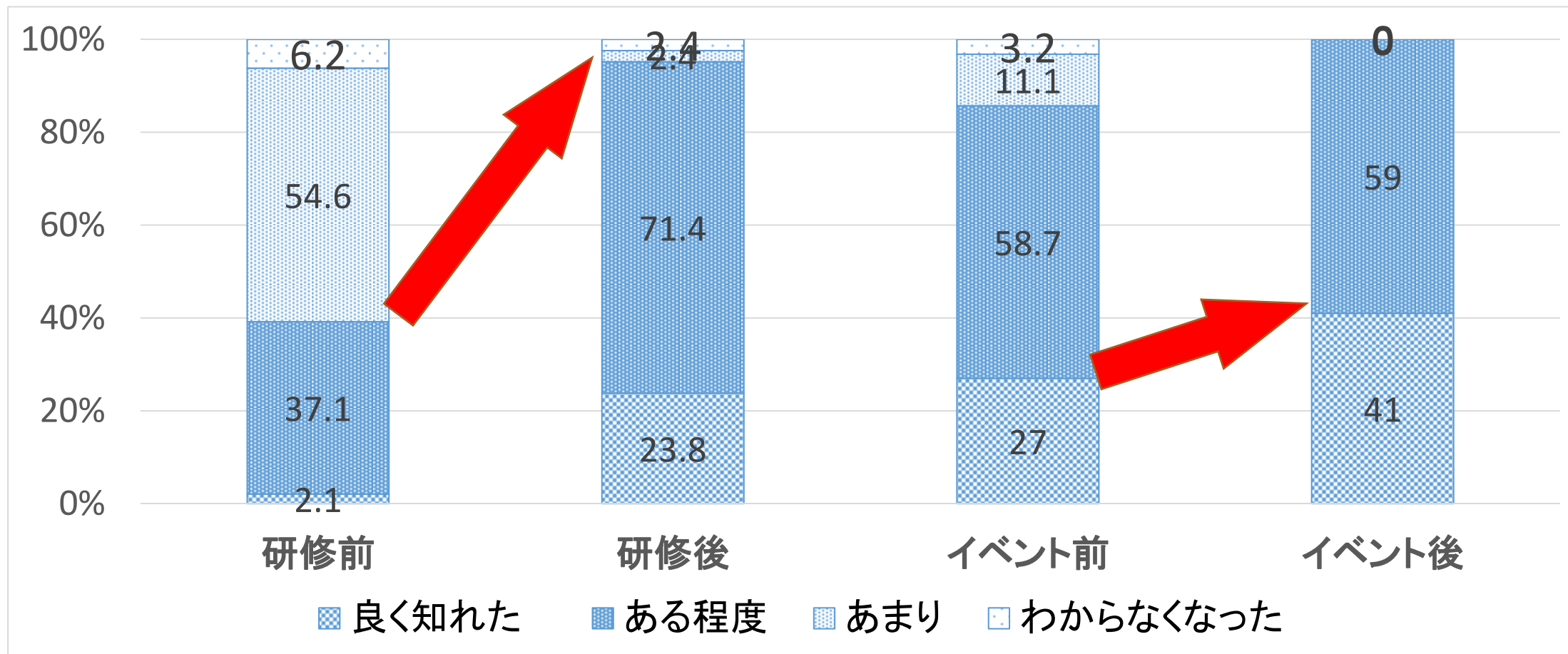
- 男女共同参画せんだいプランに沿った事業展開
- にじいろキャンバスSENDAI
  - ✓ これまでつながりのなかった市民のボランティア参加 30名
  - ✓ にじのひろばで、つながりのなかった当事者との出会い

⇒仙台市との協働という安心感  
協働事業ならではの成果

# 各課の認知と「意識」の変化



# 多様な性のあり方 理解度の変化

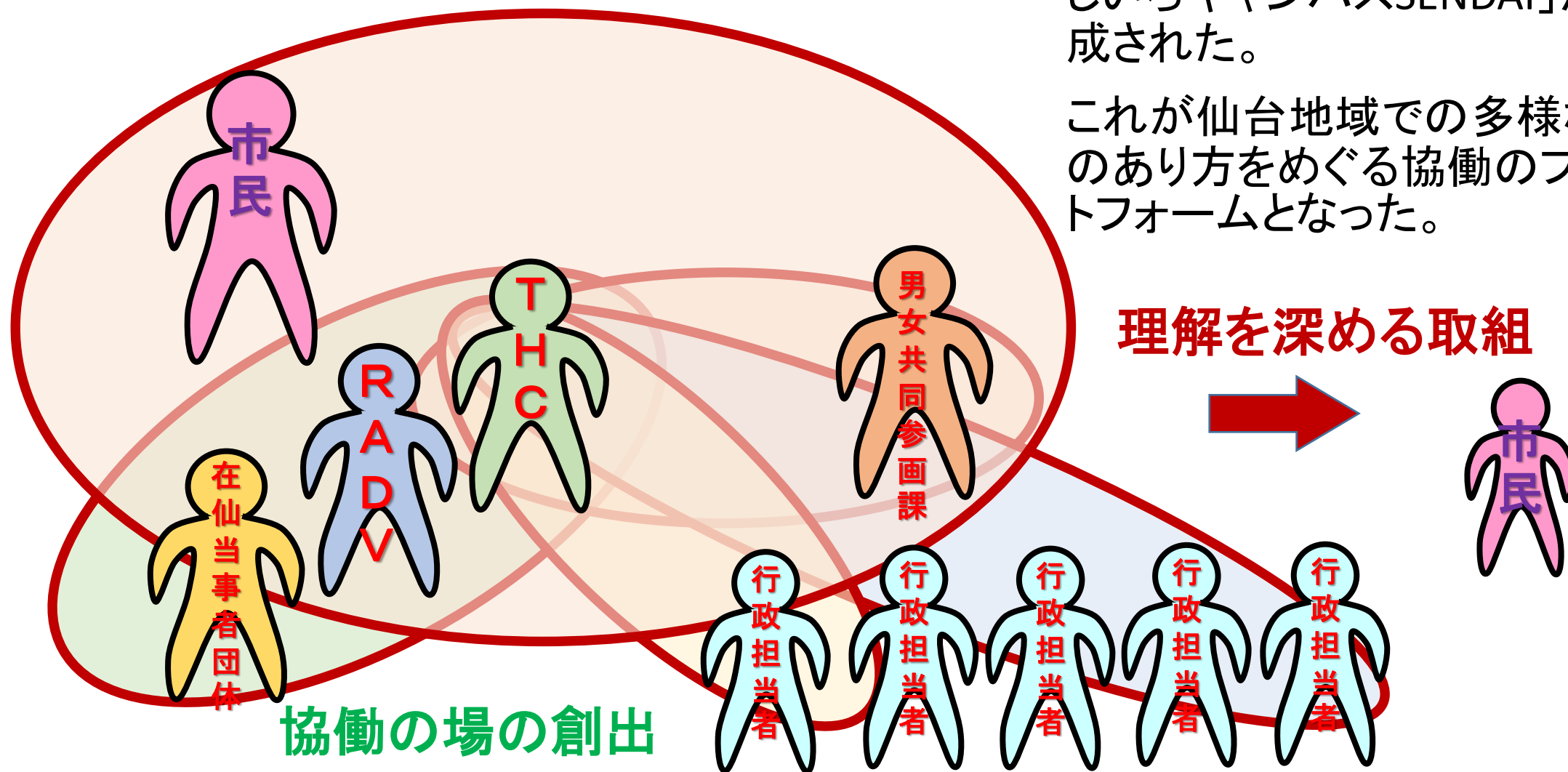




# 協働のプラットフォーム にじいるキャンバスSENDAI

これまでは繋がりの薄かったアライの参加があり、イベント後も継続する協働事業体「にじいるキャンバスSENDAI」が構成された。

これが仙台地域での多様な性のあり方をめぐる協働のプラットフォームとなった。



# 今後の活動

## ◆にじいろ協働事業 第Ⅱ期の展開

- 4つの事業の継続・発展 ⇒ より広範で深化した市民の協力
- 教育指導課との協働 ⇒ 学校等での取り組みの強化
- テーマの明確化 ⇒ 教育、広く市民の協力を募る
- 市事業として恒常的な取り組みへ

## ◆新たな政策提言

- 包括的支援策 ⇒ 社会的包摂、パートナーシップ制度、性別変更の支援
- レインボー宣言 ⇒ 市各部局の意識喚起と、市民への訴求力の強化
- 議会超党派での取り組みの提案